

複方靈黃参丸

FUKUHOUREIOUSANGAN

《複方靈黃参丸》は、古来、強壮薬として用いられてきた
＜牛黄＞や＜紅参＞をはじめ、10種類の動物性及び植物
性生薬を成分とした、すぐれた効きめの滋養強壮剤です。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること
妊婦または妊娠していると思われる人。
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って
医師または薬剤師に相談すること
服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心、胃部不快感

3. 長期連用する場合には、医師または薬剤師に相談すること

効 能

次の場合の滋養強壮：虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、
食欲不振、血色不良、冷え症、発育期

用法・用量

食間または食前に服用すること。

年 齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	4丸	1日3回
8～14才	2丸	
8才未満	服用しないこと	

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

(裏面につづく)

成分

《複方靈黃參丸》は、表面に銀箔をかけた丸剤で、12丸中、次の成分を含みます。

牛黄（ゴオウ）……………10mg
コウジン乾燥エキス……………300mg

〔紅参3gに相当します〕

当帰（トウキ）末……………180mg

防風（ボウフウ）末……………180mg

川芎（センキュウ）末……………180mg

甘草（カンゾウ）末……………100mg

芍薬（シャクヤク）末……………300mg

桂皮（ケイヒ）末……………250mg

動物胆……………50mg

鹿茸（ロクジョウ）末……………5mg

添加物として部分アルファー化デンプン、パラベン、グリセリン、ハチミツ、寒梅粉、銀箔を含有します。

<主な配合生薬について>

◇牛黄（ゴオウ）：牛の胆嚢中にごくまれに発見される褐色の小球塊で、中国最古の薬物書といわれる『神農本草経』に上薬（生命を養う薬）として収載され、古来、すぐれた強壮生薬として珍重されてきました。

◇紅参（コウジン）：『神農本草経』に上薬として収載されている薬用人参の根を蒸して乾燥したもので、古くから漢方の要薬として広く用いられてきました。

新陳代謝機能を活発にし、食欲を増進し、からだを丈夫にするはたらきがあります。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) ビンの中の詰め物は、丸剤の破損を防止するためのものですので、開封後はすてること。
- (5) ビンのフタのしめ方が不十分ですと、湿気などの影響で薬が変質する場合がありますので、服用のつどフタをよくしめること。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

×

○



製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。
救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211（代表）

受付時間：午前8時30分から午後5時まで（土、日、祝祭日を除く）



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7